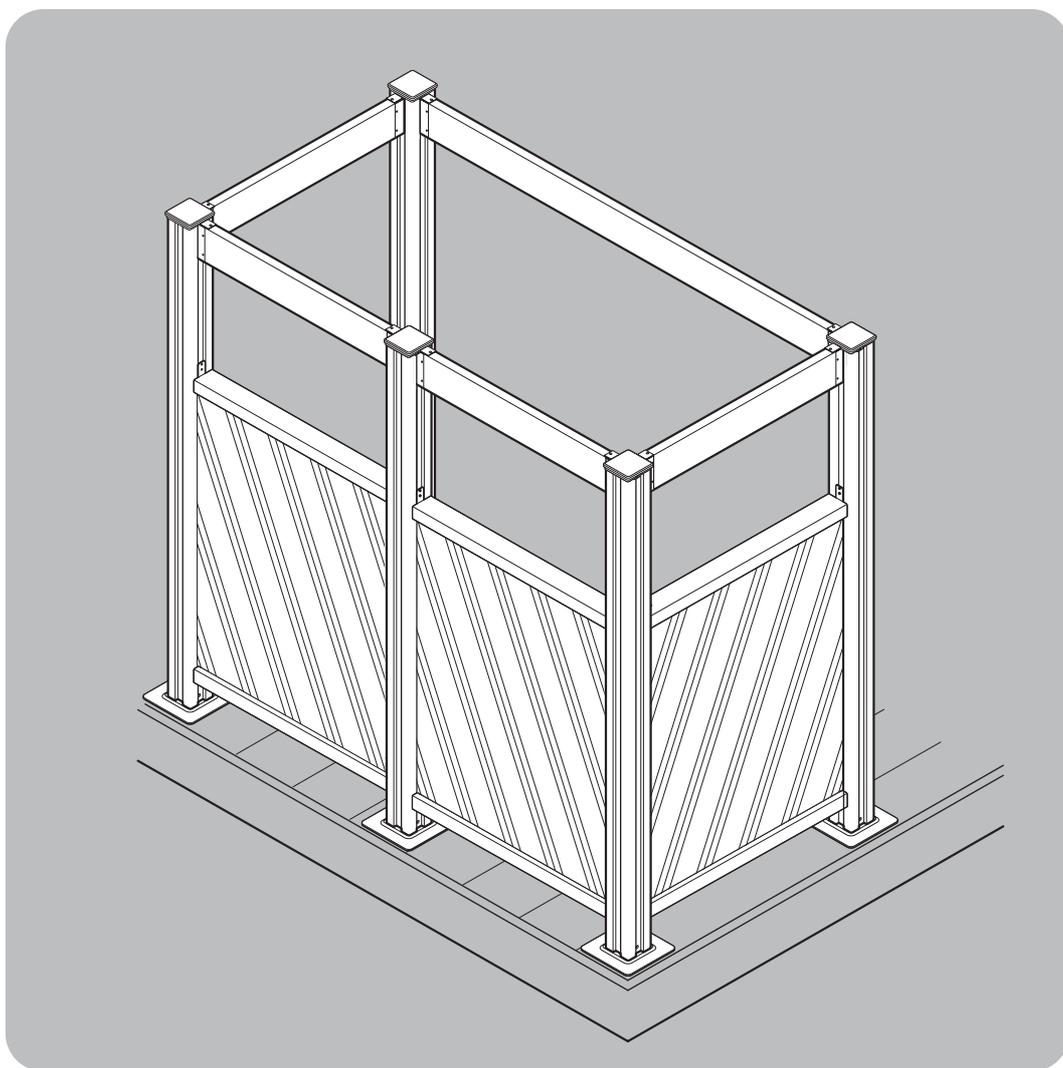


リコステージⅡ ハイパーパーティション

取付け説明書



取付けにあたって

この説明書では、お客様の安全と製品を正しく施工していただくための、取付けについて、重要な内容を記載しております。

ご留意いただき、施工してください。

取付けされる方へのお願い

●この説明書は必ず、取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●同梱されている取扱い説明書は、必ずお施主様へお渡しください。

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

※製品の破損および落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

■施工前のご注意

●設置条件

- ・本製品は、隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手摺等としては使用しないでください。
- ・本製品は、一般住宅の地上階、またはリコステージⅡに取付ける商品です。それ以外の場所へは取付けないでください。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接あたらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- ・施工プランと必要部材がそろっているか確認してください。
- ・施工場所に寸法的に正しく収まるか事前に十分確認をしてください。

●施工前の調査について

- ・施工前に地下埋設物（給水管など）に影響を及ぼさないか調査を行ってください。

●製品の保管について

- ・本製品は、木粉入り高密度樹脂製のため、熱変形することがあります。取扱には十分注意してください。
- ・立てかけ保管しないで、平らな場所に保管してください。
- ・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
- ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- ・給湯器、暖房機などの熱排気が製品に直接当たらないようにしてください。

■施工上のご注意

●基礎について

- ・コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強力アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食の原因になります。使用する場合は水洗いしたものを使用するか、非塩素や非アルカリ性の混和剤を使用してください。
- ・養生期間は十分（4日～1週間以上）とり、その間は重たいものを乗せたり、振動を与えないように指示してください。
- ・支柱の水抜き穴は、モルタル等でふさがらないでください。

●組立施工について

- ・みだりに改造、変更をしないでください。

▲ 注 意

- 取付時の足場について
 - ・取付け時は必ず足場を設け、施工者の転落などがないようにしてください。
- 部材の固定について
 - ・組立てねじ・ボルトは必ず当社指定のものを指定の本数使用してください。また使用中緩まないように締め付けてください。
- ※製品腐食のおそれがありますので下記事項をお守りください。
- 絶縁処理について
 - ・アルミ形材が垂鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは絶縁処理をしてください。
- ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{kgf} / \text{cm}$ }のトルクで止めた後、緩み・ガタツキのないことを確認してください。

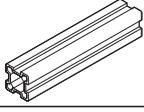
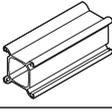
■組立て・施工のお願い

- 組立て・施工は専門業者が行ってください。
- 製品の施工については、必ず取付け説明書に従ってください。
- 水平、垂直は水準器などで正確に出してください。
- 当社指定の付属部品以外は取付けないでください。
- 人工木材の処理について
 - ・人工木材は補強材、ねじを分解して産業廃棄物として処理してください。
- 施工中についた、汚れや傷について
 - ・モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性でシミやムラなどの外観不良の原因となります。施工中に付着した場合は速やかに拭き取ってください。
 - ・施工についた表面の汚れやシミは、引渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤をうすめたものを使用した場合はよく水洗いしてください。
 - ・施工についた表面すり傷は、引渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って行ってください。
 - ・市販の研磨紙を利用する際は60番の研磨紙を用いてください。中性洗剤をうすめたものを使用した場合はよく水洗いしてください。

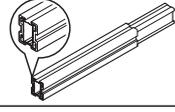
梱包明細表

■ 梱包明細表

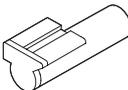
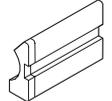
【1】主柱セット・ベース仕様

名称	略図	員数
主柱(ベース仕様)		1
柱下側スリーブ材		1
柱キャップ		1
φ4×20サラタッピン3種		6
φ5×40ナベタッピン2種G=5		4
φ4×16サラピアスネジ		2

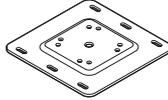
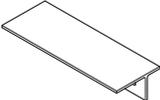
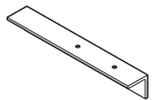
【2】主柱セット・埋込仕様

名称	略図	員数
埋込用主柱		1
埋込用柱キャップ		1

【3】埋込用コーナー柱セット

名称	略図	員数
コーナー柱(埋込仕様)		1
コーナー柱化粧材		1
φ4×35サラピアスネジ		4

【4】ベースプレートセット

名称	略図	員数		
		大引き 固定用	床板補強材 固定用	床板 固定用
ベースプレート		1	1	1
フェンス-大引き固定アングル		2	—	—
フェンス固定アングル		—	—	2
φ4×13ナベピアスネジ		4	—	—
φ5×60ナベピアスネジ		6	6	5
M5×60トラス小ネジ		—	—	2

【5】桁セット

名 称	略 図	員 数	
		1スパン	2スパン
桁		1	1
取扱い説明書〈MAL-257〉	—	1	—
取付け説明書〈MAL-247A〉	—	1	—

【6】桁連結金具セット

名 称	略 図	員 数
桁取付金具		1
桁取付金具キャップ		1
桁受け金具		1
φ4×25ナベピアスネジ		2
φ4×19ナベピアスネジ		4
φ4×20サラタツピンネジ2種 D=6 G=5		2
φ4×16サラタツピン1種		1

【7】上下棧セット

名 称	略 図	員 数
上棧		1
下棧		1
下棧受け部品		2
ゲージプレートE		1
修正用研磨紙A		1
クッション材		6
φ4×30ナベピアスネジ		4
φ5×25ナベタツピン3種		2
φ4×25ナベピアスネジ		4
取扱い説明書〈MAL-257〉	—	1
取付け説明書〈MAL-246A〉	—	1

【8】切詰用上下棧取付金具セット

名 称	略 図	員 数
上棧受け金具		2
下棧受け部品		2
φ4×13サラピアスネジ		2
φ4×20ナベタツピンネジ2種 G=5		4
φ4×30ナベピアスネジ		4
φ5×25ナベタツピン3種		2
φ4×25ナベピアスネジ		4

【9】上棧セット

名 称	略 図	員 数
上棧		1
ゲージプレートC		1
修正用研磨紙A		1
φ4×25ナベピアスネジ		4
取扱い説明書〈MAL-257〉	—	1
取付け説明書〈MAL-246A〉	—	1

【10】中棧セット

名 称	略 図	員 数	
		横ビーム パネル用	フライバー パネル用
中棧(上段ビームパネル)		1	—
中棧		—	1
φ3.8×20ナベ特殊ネジ		4	4

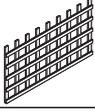
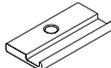
【11】ラチスパネルセット(細目タイプ)

名 称	略 図	員 数	
		T-14以下	T-18
ラチスパネル		1	1
ラチス棧固定金具		—	4
φ3.8×20ナベ特殊ネジ		—	8
φ4×20トラスタッピン3種		—	4
φ4×30トラスタッピン3種		—	2
M4六角袋ナット		—	4
M4平座金		—	8

【12】ラチスパネルセット(粗目タイプ)

名 称	略 図	員 数	
		T-14以下	T-18
ラチスパネル		1	1
ラチス棧固定金具		—	4
φ3.8×20ナベ特殊ネジ		—	8
φ4×20トラスタッピン3種		—	4
φ4×30トラスタッピン3種		—	2
M4六角袋ナット		—	4
M4平座金		—	8

【13】井桁格子パネルセット

名 称	略 図	員 数		
		T-08,T12	T-06,T-10,T14	T-18
井桁格子パネル		1	1	1
格子パネル振れ止め		2	—	—
ラチス棧固定金具		—	—	4
φ3.8×20ナベ特殊ネジ		—	—	8
φ4×20トラスタッピン3種		—	—	4
φ4×30トラスタッピン3種		—	—	2
M4六角袋ナット		—	—	4
M4平座金		—	—	8

【14】横ビームパネルセット

名 称	略 図	員 数		
		H400	T-08	T-10
ビーム棧		2	2	3
下段用ビーム棧		—	1	1
ビーム棧枠材		2	2	2
ビーム棧枠材受け金具		—	2	2
クッション材		2	2	2
φ4×20ナベタッピン2種G=5		4	6	8
φ4×19ナベピアスネジ		—	2	2
φ4×30ナベピアスネジ		4	4	4

【15】クロスパネルセット

名 称	略 図	員 数
クロス棧		2
クロス棧枠材		2
下棧溝隠し材		1
クッション材		2
φ5×30トラスタッピン3種		4
φ4×30サラピアスネジD=6		4
M4×45トラス小ネジ		1
M5六角袋ナット		4
M5平座金		8
M5バネ座金		4
M4六角袋ナット		1
M4平座金		2
M4バネ座金		1

【16】プライバシーパネルセット

名 称	略 図	員 数	
		H600以下	T-08以上
ポリカパネル上乘せ		1	—
ポリカパネル		—	1

【17】LED照明ユニット

※本製品はTOEX商品で取付け可能です。

TOEX

名 称	略 図	員数
LED照明ユニット本体		1
取付金具		2
φ4×13ナベピアスネジ		2
φ4×50トラスタッピンネジ 1種		2
φ4×50トラスタッピンネジ 1種		2
取付け説明書〈Z217〉	—	1
取扱い説明書〈UC015〉	—	1

※生地色は、配線カバーがシャイングレーの場合に使用します。
 ※ブロンズ色は、配線カバーがマイルドブラック、オータムブラウンの場合に使用します。

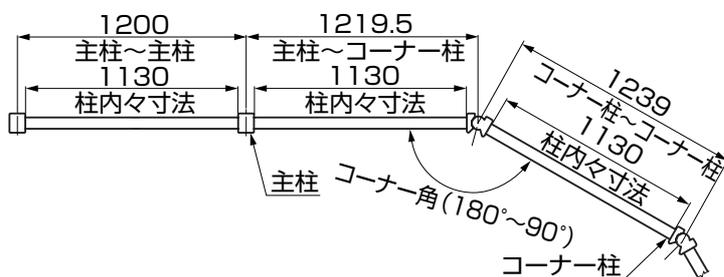
基本寸法・各部名称・取付け順序

■ハイパーパーティション取説区分表

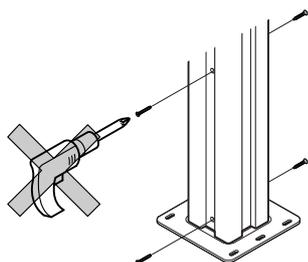
※フェンスの施工手順は上下棧セット、上棧セットに同梱されている取付け説明書を確認してください。

フェンスの施工手順	使用する取付け説明書	取説コード
パネルの取付け パネルの幅切詰め 下棧LED照明ユニットの取付け	・リコステージⅡ ウッドパーティション	MAL-246

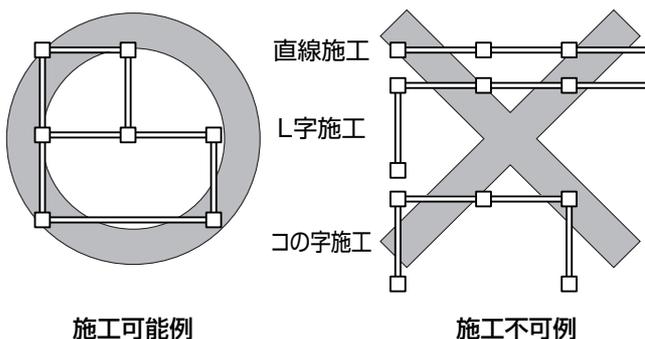
1 施工時の重要確認事項



※コーナー柱を使用する場合は、柱ピッチが変わりますのでご注意ください。(コーナー角の対応角90°~180°です。)



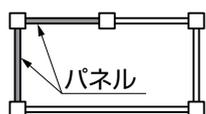
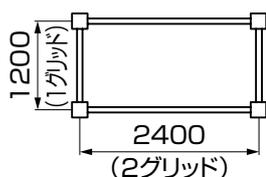
※人工木の取付には電動ドライバーを使用しないでください。人工木はネジを締めこみすぎると割れるおそれがありますので注意してください。



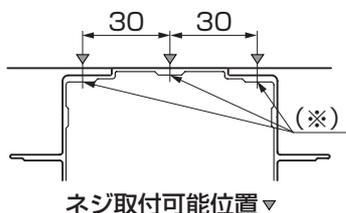
※「直線」、「L字」、「コの字」の施工はしないでください。必ず枠線上に組むようにしてください。

※枠の許容最大寸法(1グリッド×2グリッド)を守ってください。(1グリッドは1200×1200です。)

※ベース仕様の場合はL字2面方向に必ずパネルを取り付けてください。



※間違った施工をしてしまいますと強度不足による事故のおそれがあります。



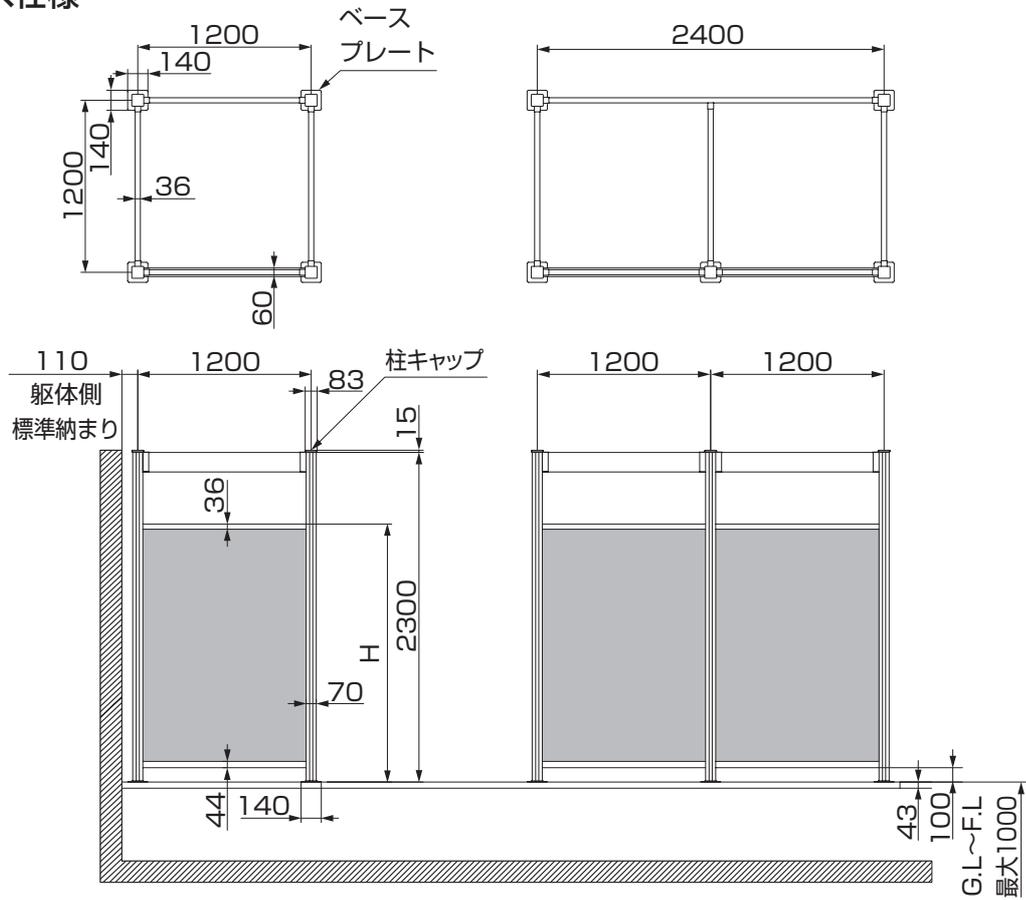
※大引きにネジを取り付ける際、図の位置3ヶ所(※)以外に取り付けしないでください。

ネジ取付可能位置▼

2

基本寸法図

2-1 ベース仕様



2-2 埋込仕様

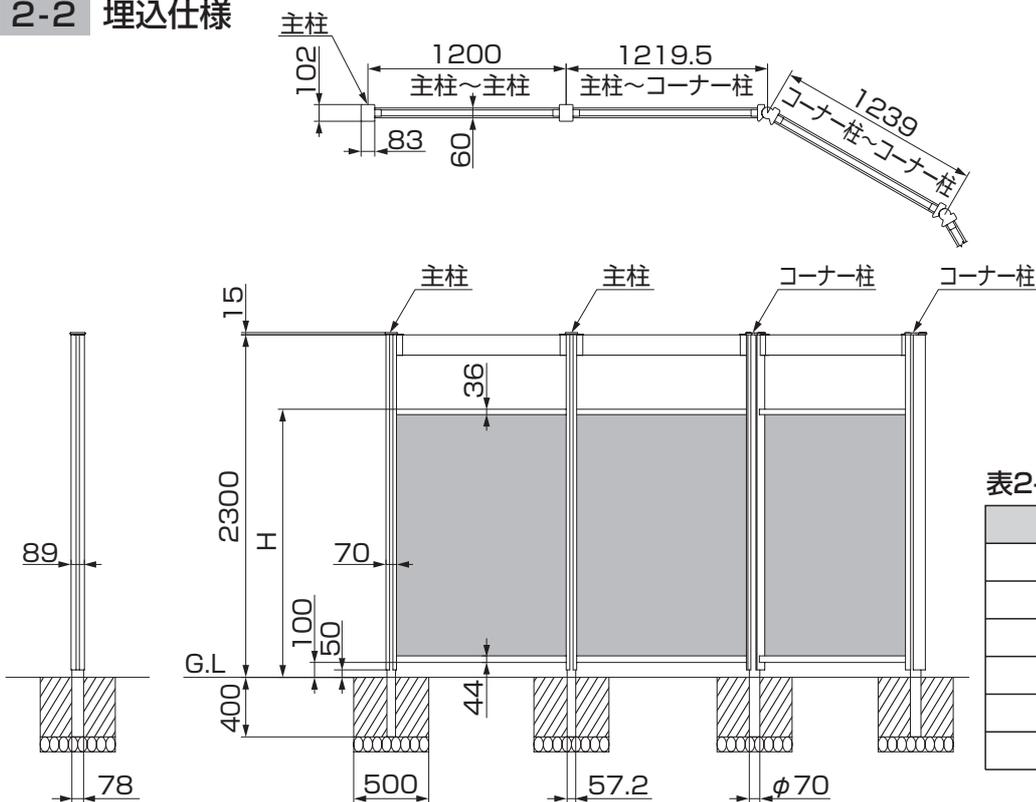
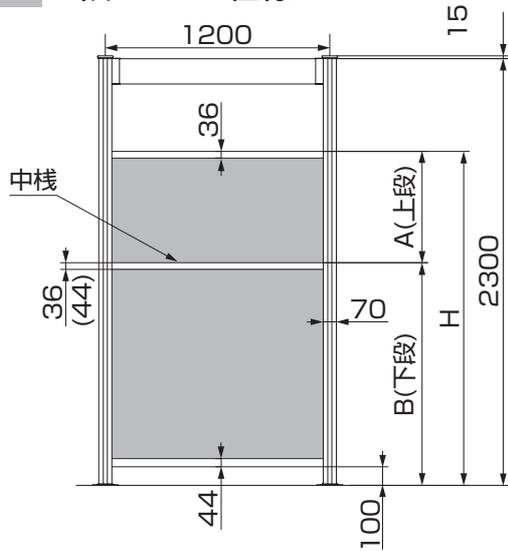


表2-1、表2-2

呼称	H寸法
T-6	600
T-8	800
T-10	1000
T-12	1200
T-14	1400
T-18	1800

2-3 2段フェンス仕様



※ () 寸法は上段プライバシーの場合です。

表2-3

呼称		A寸法	B寸法	H寸法
T-12	(T04-08)	400(ビームパネル)	800	1200
		400(プライバシーパネル)		
T-14	(T06-06)	600(プライバシーパネル)	600	1400
	(T04-10)	400(ビームパネル)	1000	
T-18	(T06-08)	600(プライバシーパネル)	800	1800
	(T04-14)	400(ビームパネル)	1400	
		400(プライバシーパネル)		
	(T06-12)	600(プライバシーパネル)	1200	

3 柱の準備

3-1 主柱(ベース仕様)の場合

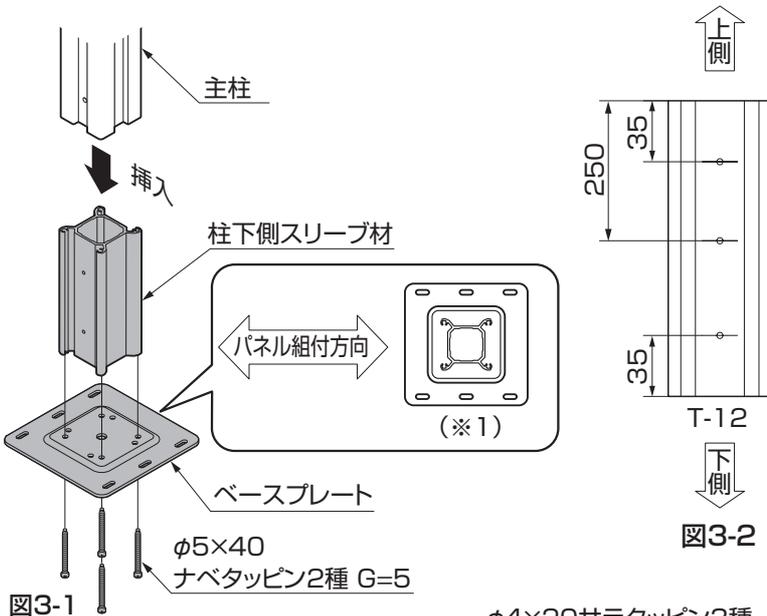


図3-1

図3-2

※柱には上下の区別があります。
※T-12柱スリーブ材には上下の区別があります。(図3-2参照)

①ベースプレートの裏側から柱下側スリーブ材を、φ5×40ナベタッピン2種 G=5で4ヶ所ベースプレートの向きに注意して固定してください。(※1)

②主柱を、ベースプレートに組付けた柱下側スリーブ材へ挿入してください。(図3-1参照)

③主柱の孔位置からφ4×20サラタッピン3種で、主柱と柱下側スリーブ材を固定してください。

④デッキ側面に柱を組付ける場合、ベースプレートを90°回転して固定してください。(図3-3参照)

※主柱の取付けには電動ドライバーを使用しないでください。
※人工木はネジを締め込みすぎると割れる恐れがありますので注意してください。

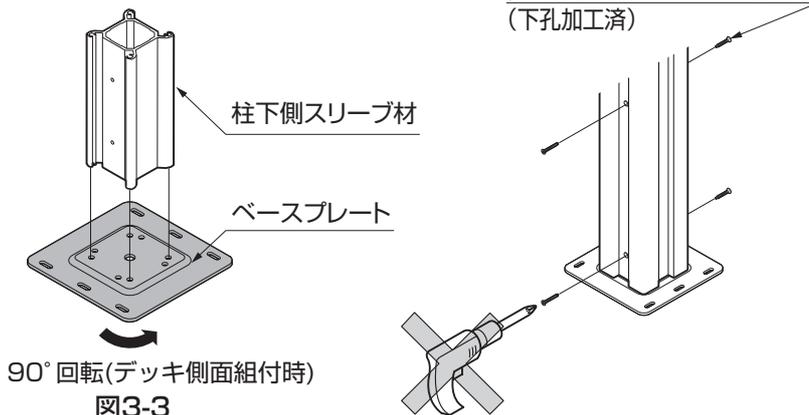


図3-3

4

柱の組付け

4-1 ベース柱

(1) 正面床板固定の場合

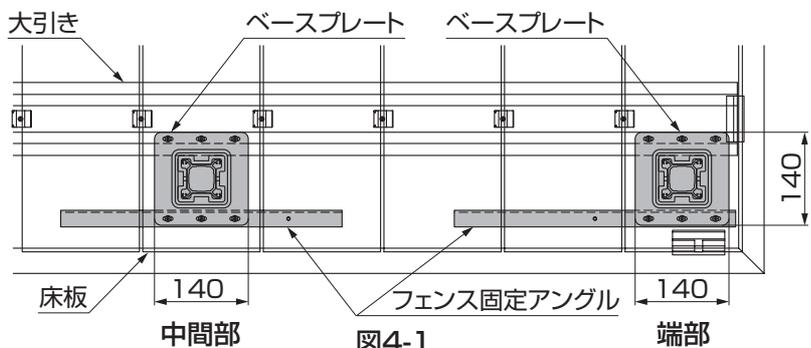


図4-1

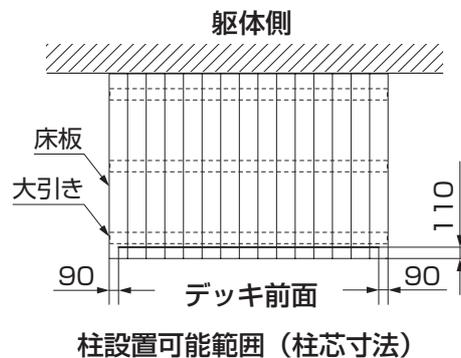


図4-2

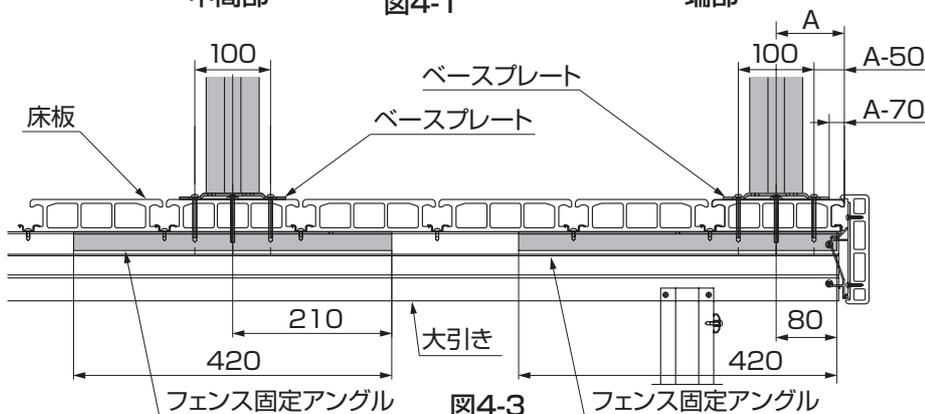


図4-3

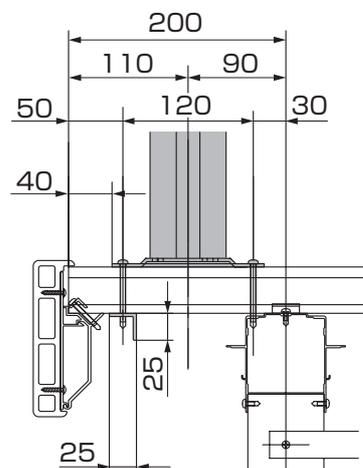
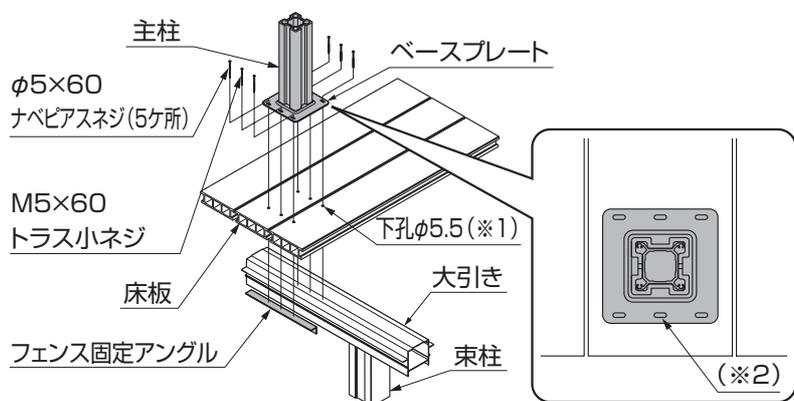


図4-4



①柱の固定位置を決めてください。

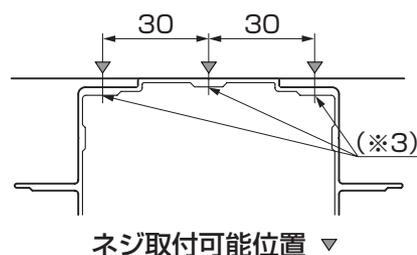
※デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には、図4-1、図4-2、図4-3、図4-4を参照して取付けてください。

※図4-3のA寸法値の最小値は90mmです。

※図4-3のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)



ネジ取付可能位置 ▼

▲ 注意

※大引きにネジを取付ける際、図の位置3ヶ所 (※3) 以外に取付けしないでください。

④ベースプレートをφ5×60ナベピアスネジ (5ヶ所) で、床板の下の大引きまで3ヶ所取付けてください。

⑤デッキ前面の中心の下孔とフェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートをM5×60トラス小ネジで取付けてください。(※2)

⑥φ5×60ナベピアスネジ (5ヶ所) で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて2ヶ所取付けてください。

(2) 正面大引き固定の場合

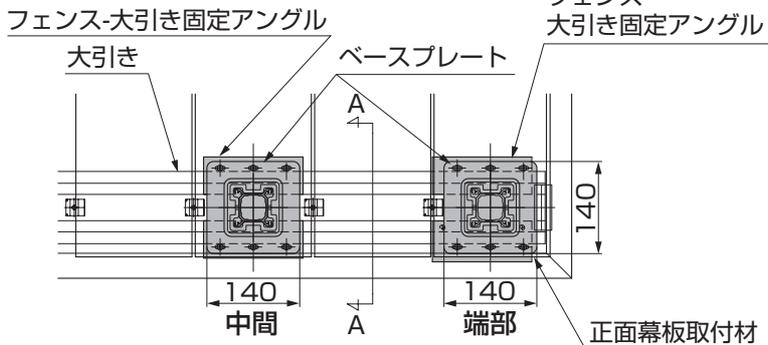


図4-5

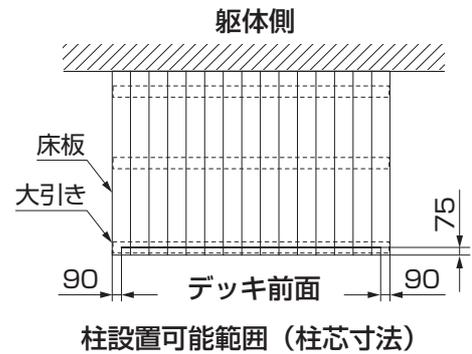


図4-6

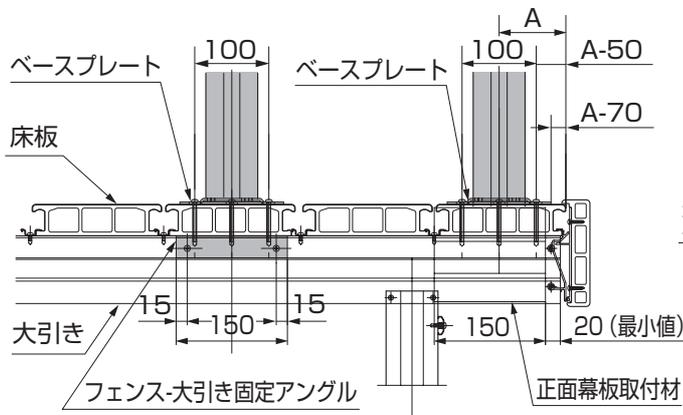


図4-7

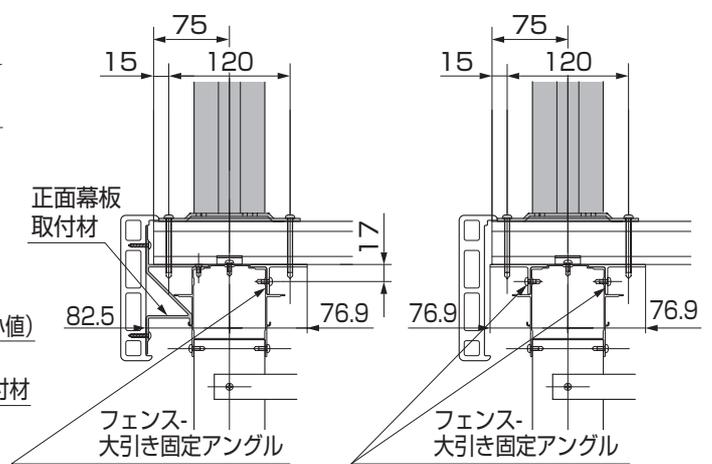
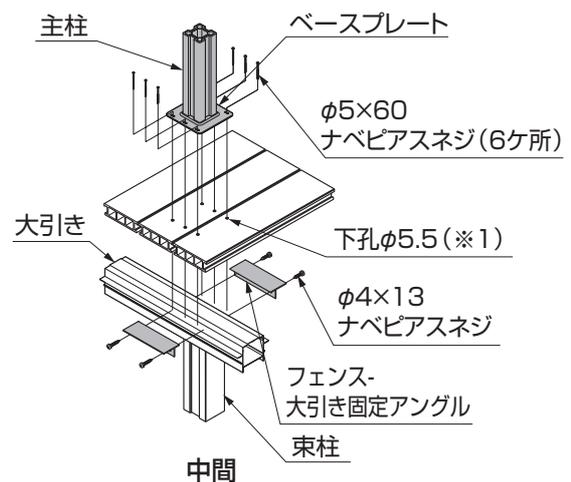
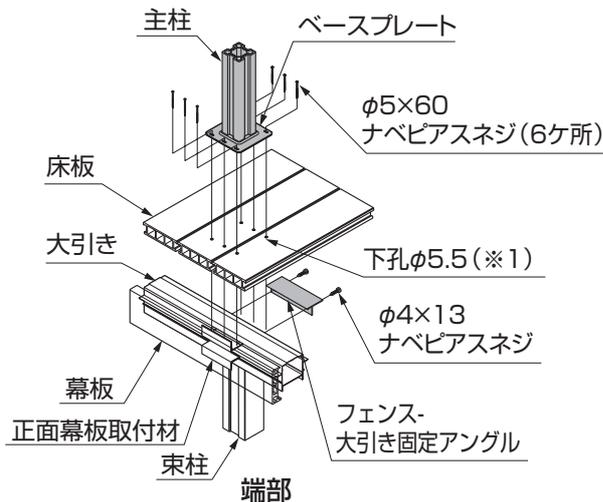


図4-8 A-A矢視図



①柱の固定位置を決めてください。

※デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には、図4-5、図4-6、図4-7、図4-8を参照して取付けてください。

※図4-7のA寸法値の最小値は90mmです。

※図4-7のA寸法の最大値は、フェンス-大引き固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板に、φ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④大引きにフェンス-大引き固定アングルを、φ4×13ナベピアスネジで取付けてください。

⑤ベースプレートをφ5×60ナベピアスネジ(6ヶ所)で、床板の下の幕板固定金具またはフェンス-大引き固定アングルまで取付けてください。

(3) 側面床板固定の場合

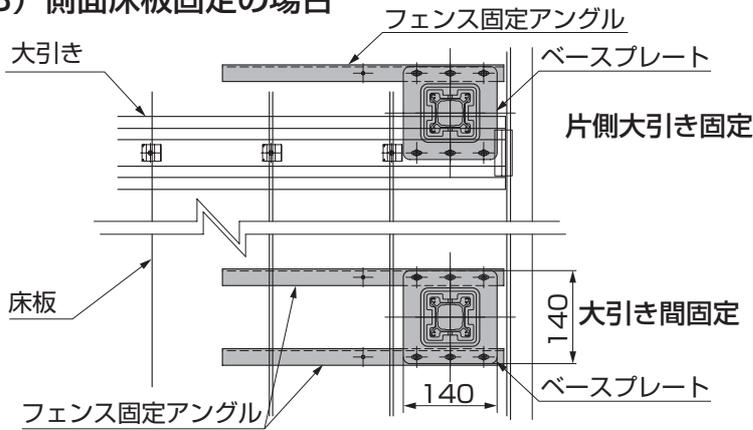
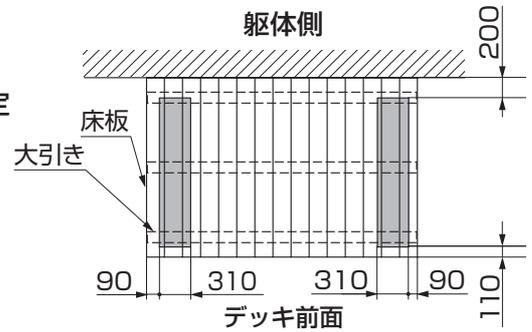


図4-9



柱設置可能範囲 (柱芯寸法)

図4-10

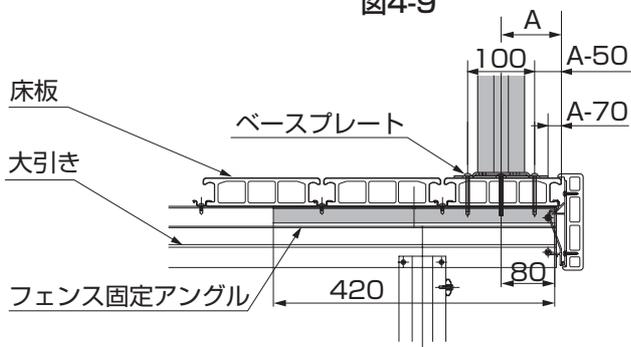


図4-11

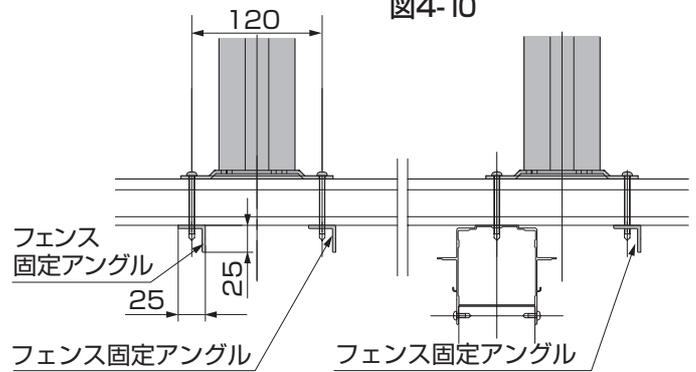
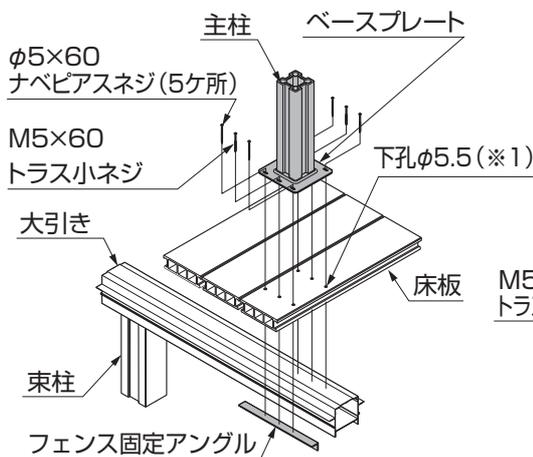
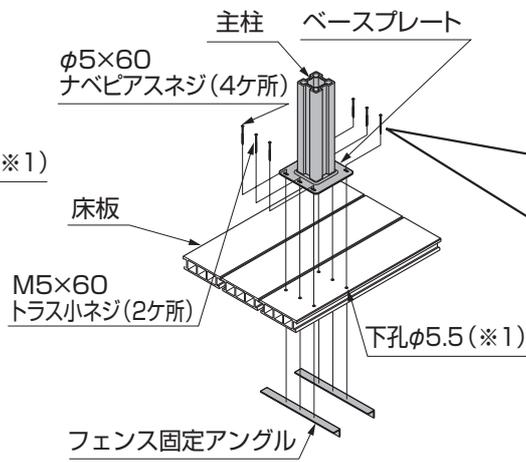


図4-12

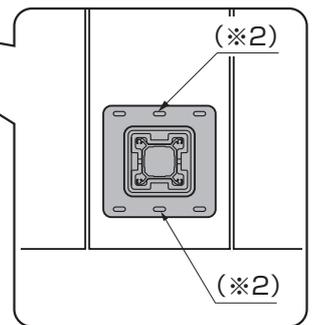


片側大引き固定

①柱の固定位置を決めてください。



大引き間固定



※片側を大引きに固定して立てる場合、大引き間に立てる場合には、図4-9、図4-10、図4-11、図4-12を参照して取付けてください。

※図4-11のA寸法値の最小値は90mmです。

※図4-11のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④片側大引き固定の場合は、「4-1 ベース柱 (1) 正面床板固定の場合」の端部への取付けを参照してください。

⑤大引き間固定の場合、デッキの中心の下孔と、フェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートをM5×60トラス小ネジ(2ヶ所)で2ヶ所取付けてください。(※2)

⑥ベースプレートをφ5×60ナベピアスネジ(5ヶ所)で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて4ヶ所取付けてください。

(4) 側面床板補強材固定の場合

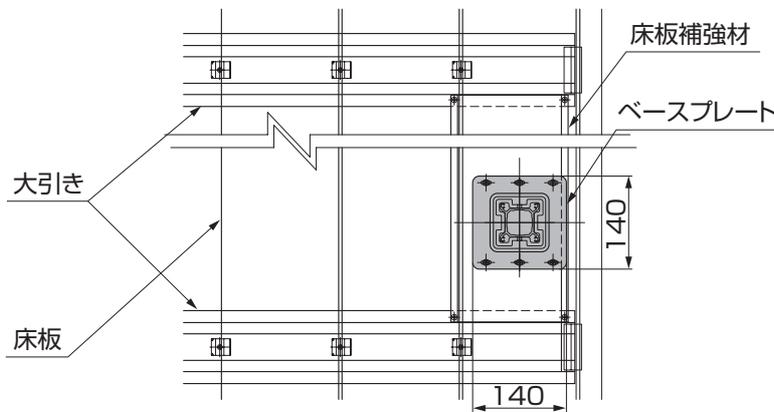


図4-13

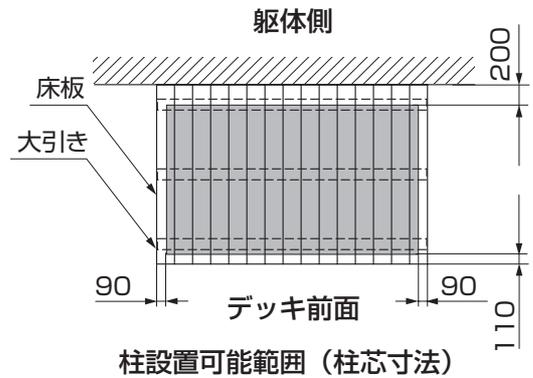


図4-14

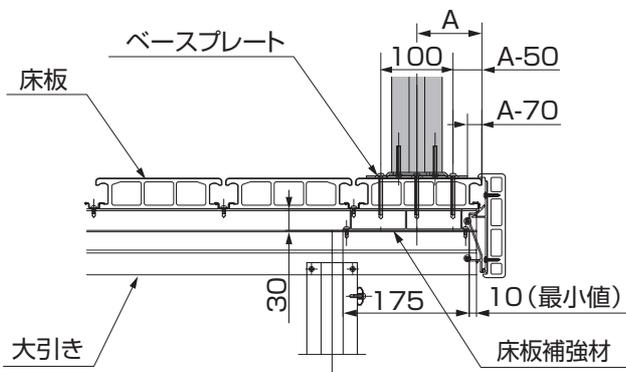


図4-15

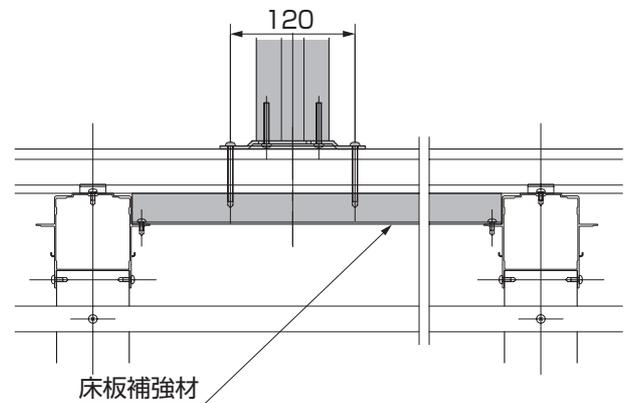
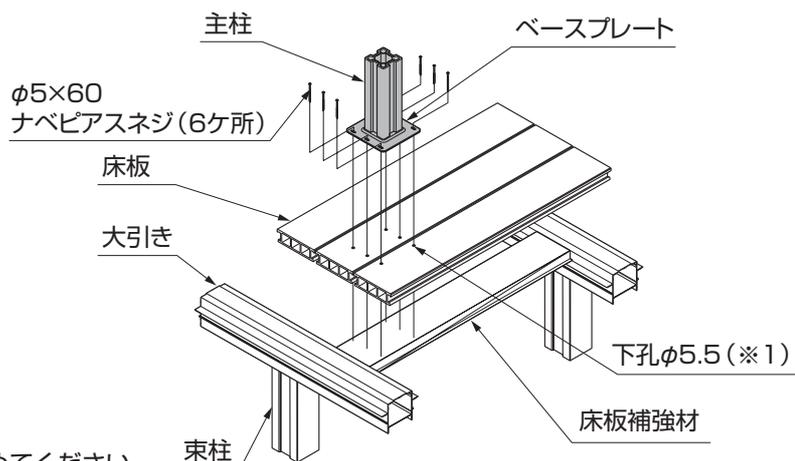


図4-16



①柱の固定位置を決めてください。

※デッキ施工前に補強材を取付けてください。

※デッキに図4-13、図4-14、図4-15、図4-16を参照して取付けてください。

※図4-15のA寸法値の最小値は90mmです。

※図4-15のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

※柱を立てる床板の下に床板補強材があることを確認してください。

②ネジ位置をマーキングしてください。

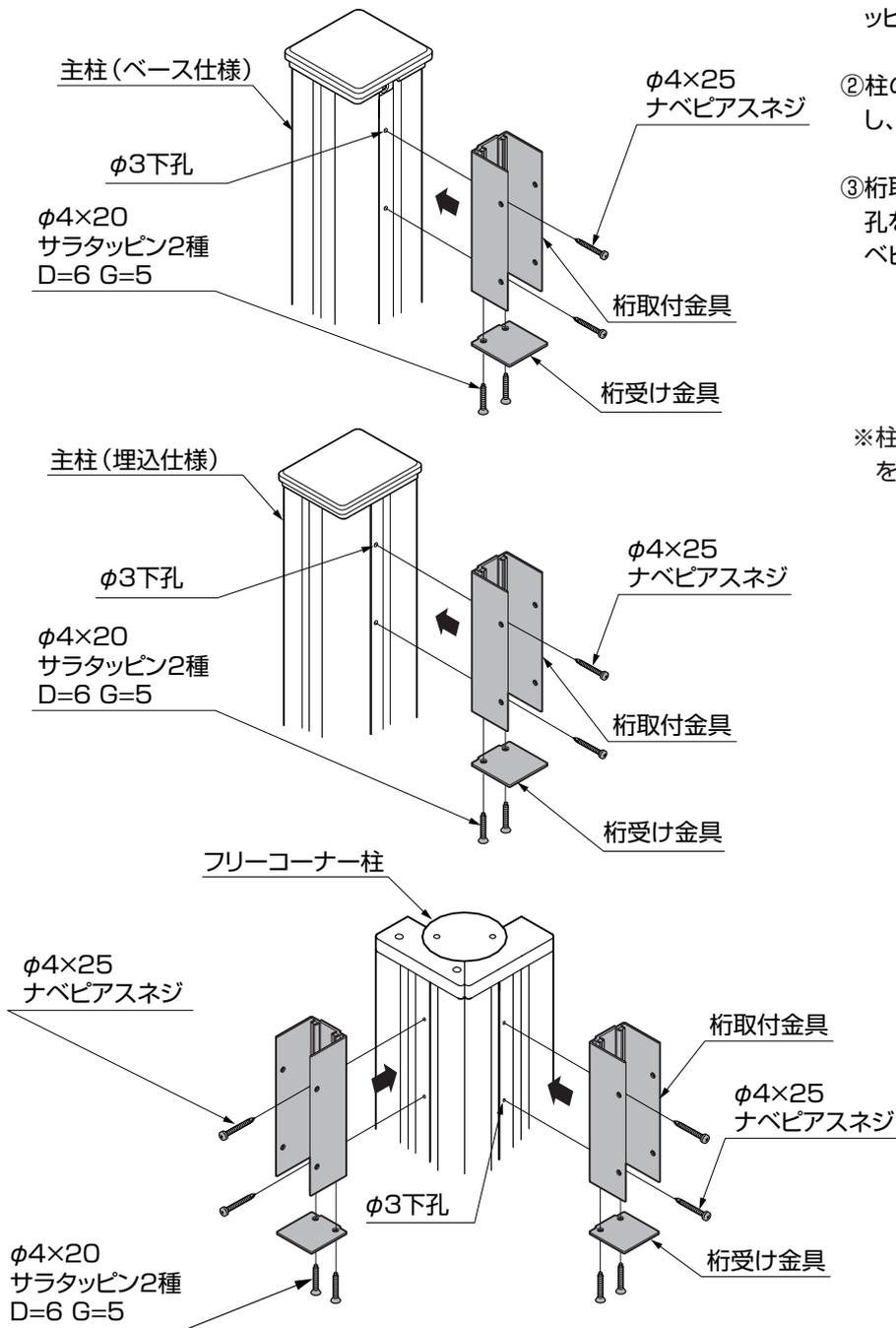
③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④ベースプレートをφ5×60ナベピアスネジ(6ヶ所)で、床板の下の床板補強材まで取付けてください。

5

桁取付金具の取付け

5-1 柱への取付け

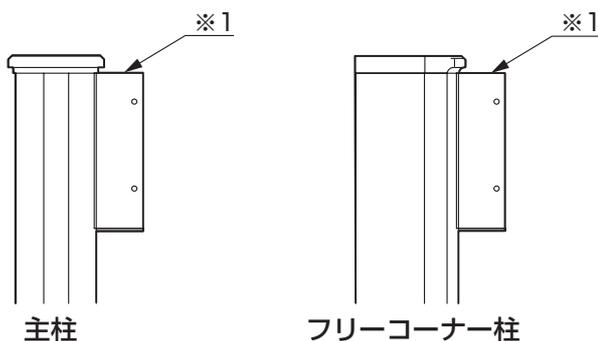


① 桁受け金具を桁取付金具に $\phi 4 \times 20$ サラタッピン2種D=6 G=5で固定してください。

② 柱の使用部位と方向および桁の方向を確認し、桁取付金具を組付けてください。

③ 桁取付金具のネジ孔にそって主柱に $\phi 3$ の下孔をあけて、桁取付金具を主柱に $\phi 4 \times 25$ ナベピアスネジで固定してください。

※柱キャップの下端部と桁取付金具の上ををあわせてください。(※1)



5-2 2スパン桁への取付け

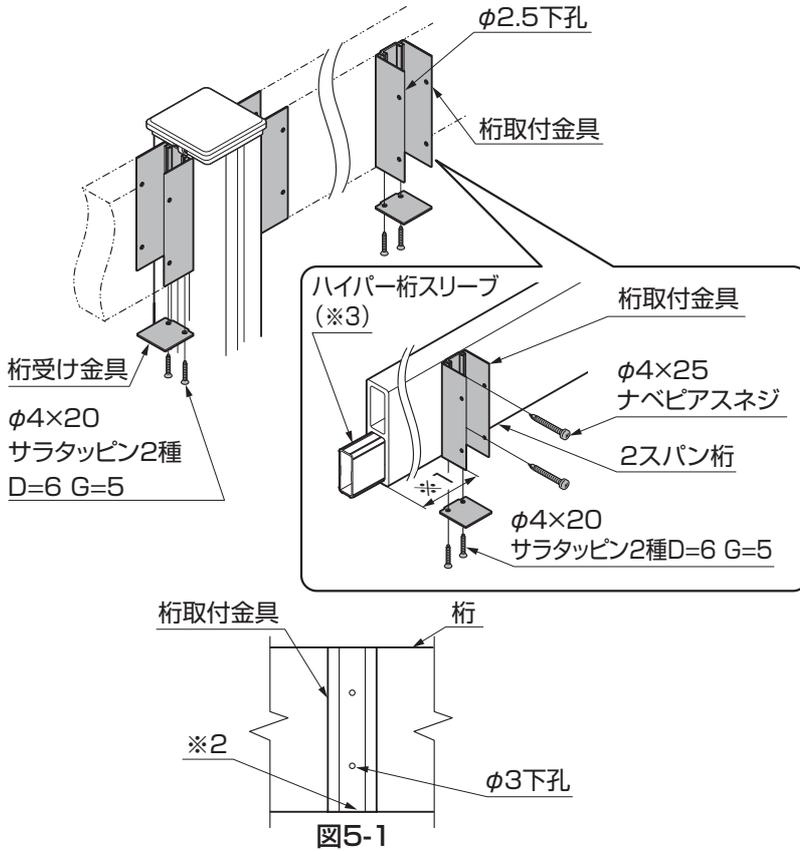


図5-1

- ①2スパン桁に桁取付金具を取付ける場合、桁ピッチを確認してください。(※1)
- ②桁の下面と桁取付金具の下面を合わせて桁にφ3の下孔をあけてください。(※2)
(図5-1参照)
- ③桁取付金具をφ4×25ナベピアスネジで固定してください。
- ④桁受け金具を桁取付金具にφ4×20サラタッピン2種D=6 G=5で固定してください。

※2スパン桁の下側ホロー部には、桁スリーブが入っています。(※3)詳細は、「6. 桁の組付け」をご覧ください。

6 桁の組付け

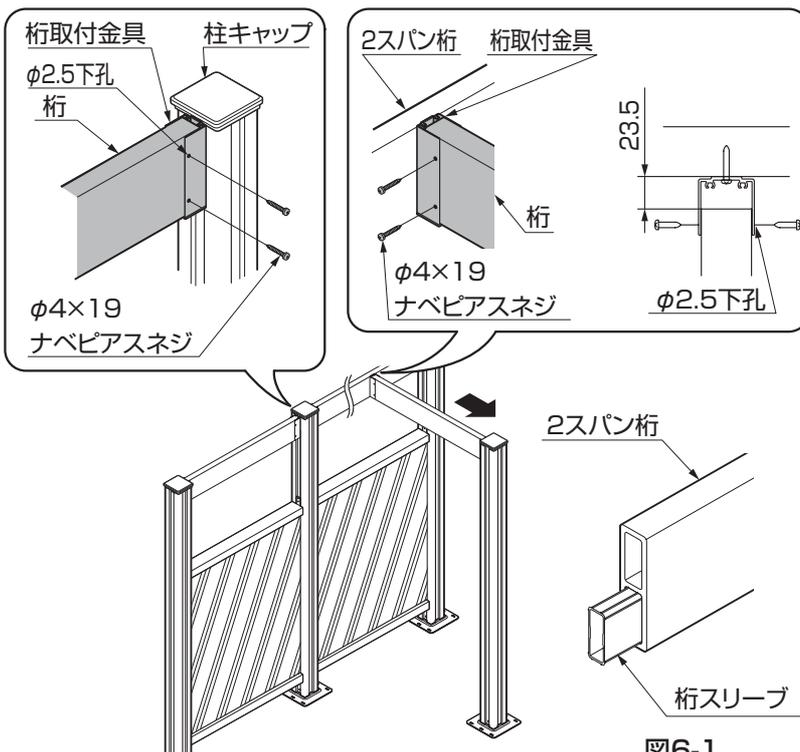


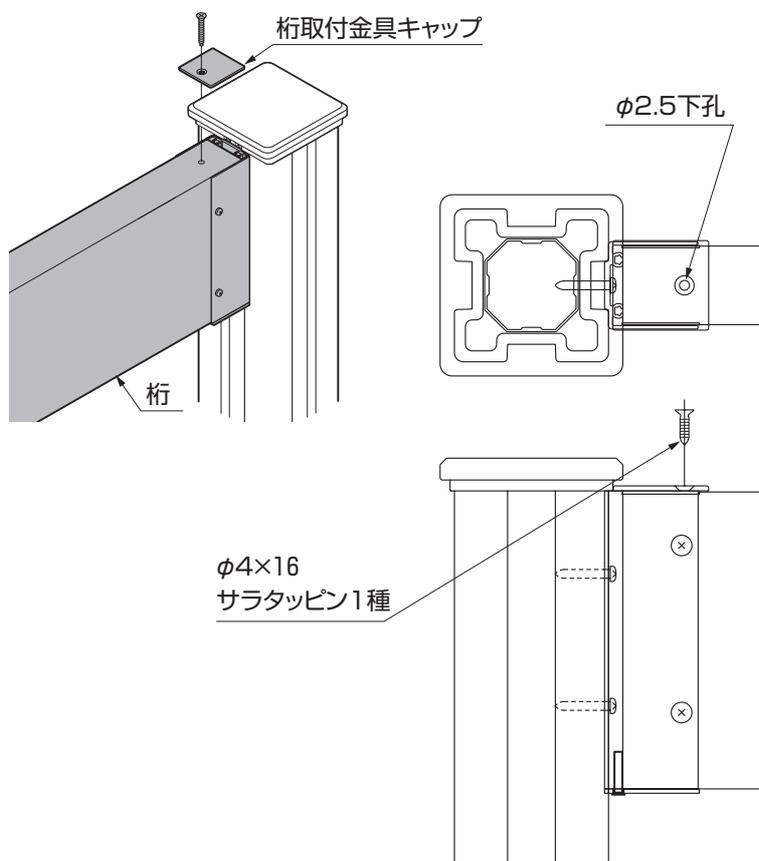
図6-1

- ①桁取付金具にはめ込み、ネジ位置にφ2.5の下孔をあけて、φ4×19ナベピアスネジで固定してください。
- ②2スパン桁側に桁を取付ける場合、柱側に桁を突き当ててください。
- ③この際、桁側に約23.5mmのすきまが出来ますが、この状態でネジ位置にφ2.5の下孔をあけてφ4×19ナベピアスネジで固定してください。

※2スパン桁の場合、ホロー部の1つに桁スリーブを挿入し、スリーブを挿入した側を下にして桁取付金具にはめ込んでください。(図6-1参照)

※長さ調整が必要な場合は、現場で切断してください。

7 桁連結金具の取付け



①桁取付金具キャップを、柱キャップに突き当てて、桁に取付けてください。

②桁取付金具キャップのネジ位置にそって、φ2.5の下孔をあけてください。(図7-1参照)

③桁取付金具キャップを桁にφ4×16サラタップピン1種で固定してください。

※2スパン桁に取付けた桁取付金具に固定する場合、桁取付金具キャップを桁側に突き当ててください。(図7-2参照)

図7-1

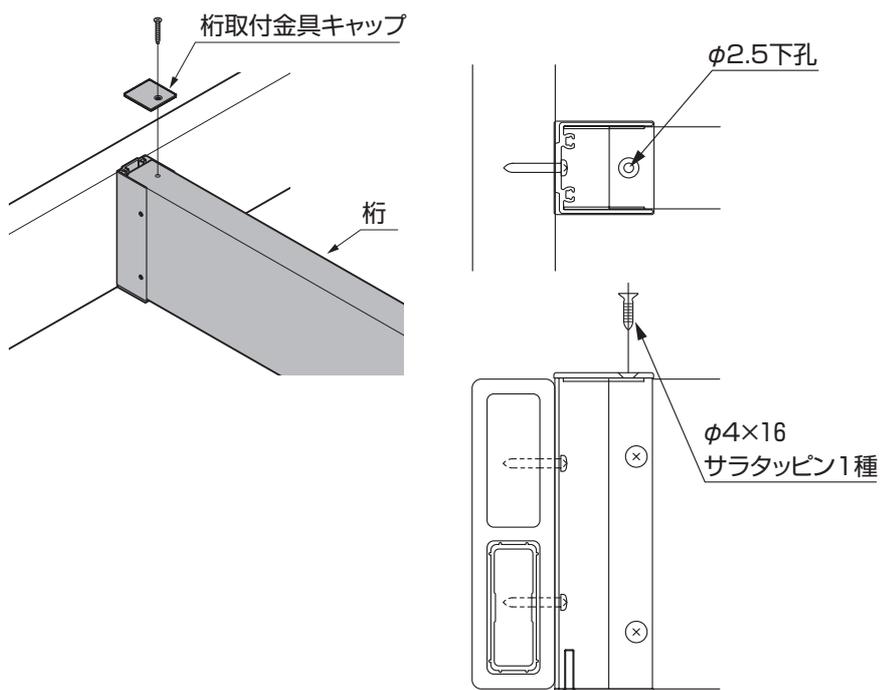
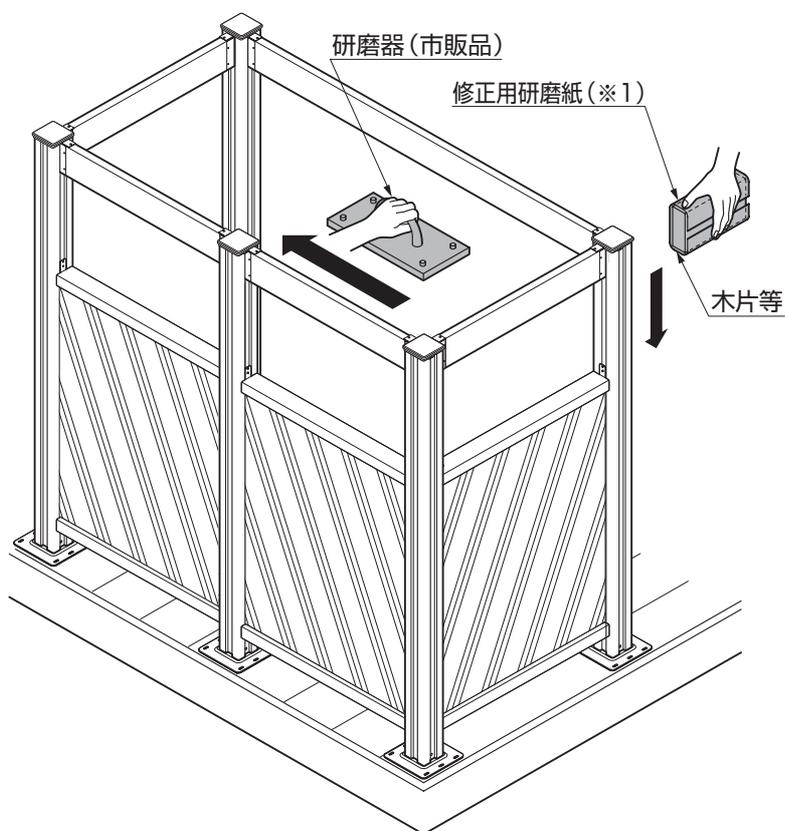


図7-2

8 施工後の仕上げ



※施工後、表面に付いたすりキズは取付け説明書に同梱している修正用研磨紙で補修してください。

※1ヶ所を集中的に磨くのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。

※平らな部材を修正用研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)

※製品お引き渡しの際は、お客様に修正用研磨紙による補修方法について説明をしてください。

※市販の研磨器等(研磨紙を取付ける器具)を使うときれいに仕上げることができます。

※市販の研磨紙を利用する際は、60番の研磨紙を使用してください。

MAL-247A
AQ26
2007年8月1日発行



トステム株式会社

本社 〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますので承ください。

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています。